



株主・投資家の皆様へ

第101期 報告書

2020年4月1日～2021年3月31日



P1 株主・投資家の皆様へ

P3 連結業績ハイライト

P5 Topics

P7 企業情報



株主・投資家の皆様へ



独創力で、 “一步先行く提案”型企業へ

株主・投資家の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第101期(2020年4月1日～2021年3月31日)における事業の概況と業績につきまして、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 兼 C.E.O.

田中直人

■第101期の業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大及び2020年4月からの緊急事態宣言発出下において、景気は急速に悪化しました。宣言解除後、個人消費を中心に持ち直しの動きが見られたものの、2021年1月の緊急事態宣言の再発出を受けて減速し、また宣言解除後も感染者数にリバウンド傾向がみられるなか、経済活動再開のペースは緩慢なものとなりました。海外経済においては、米国、中国を中心として、経済活動の段階的再開や各種景気対策による回復の加速が期待されますが、ワクチン接種の遅れや変異株の流行、財政出動の拡大に伴うインフレ懸念等、様々なリスクを孕んだ状況が続いています。

このような状況下、当連結会計年度の当社グループの売上高は前年同期比3.8%減収の495億90百万円、営業利益は同5.7%減益の74億1百万円、経常利益は同0.3%減益の79億97百万円と、前年を下回りましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は同2.7%増益の57億60百万円と、前年を上回りました。

■長期ビジョン「Challenge 1000」について

四国化成グループは来年、創業75周年を迎えますが、変わらぬ企業理念「独創力」のもと、昨年度から10年間の長期ビジョン「Challenge 1000」に取り組んでおり、明確に積極経営へと舵を切りました。2030年にありたい

四国化成グループ長期ビジョン **Challenge 1000**

当社グループは、新たなステージへの飛躍を目指し、2030年を見据えた長期ビジョン「Challenge 1000」を策定。中期経営計画だけでは描き切れなかった長期的な視点から、目指す姿を設定し、飛躍的な成長を実現していきます。

企業理念



私たちは常に独創性を重んじ、これを会社発展の原動力とする。

- ・「独創力」は、未来永劫掲げていく四国化成グループの理念
- ・二硫化炭素の革新的な製法の発明に始まり、その後も節々で独創性の発揮を成長の礎、発展の力としてきた
- ・一人ひとりの持つ知恵を結集し、思いもよらない発想で常に新たな道を切り拓いてゆく

2030年に
ありたい姿

独創力で、“一步先行く提案”型企業へ

独創的なアイデアで社会課題を解決し、世界の進歩をリードする

姿として、「独創力で、“一歩先行く提案”型企業へ」を掲げ、独創的なアイデアで社会課題を解決していく企業となることを目指しています。

「Challenge 1000」では、長期的視点に立った事業変革方針はもとより、人財づくりや風土づくりといった全社変革方針を策定し、それらの実践による飛躍的な成長を目指します。2030年に達成すべき財務目標として「売上高1,000億円、営業利益150億円、ROE10%以上」を掲げ、その達成や次代を担う新規事業の育成に向けて、設備投資や研究開発投資の積極的な投入を図っていきます。

あわせて、ESG（環境・社会・ガバナンス）といった非財務目標の視点も高く持ち、SDGs（持続可能な成長目標）の達成にも取り組んでいます。

こうした取り組みは、良き企業市民として、顧客、従業員、株主、及び社会の各ステークホルダーに貢献していくこととした企業の活動方針「四方よし」に根ざすものです。お客様には「一歩先の価値」を、従業員には「挑戦と成長」を、株主の皆様にはより一層の「利益還元」を、そして社会には「より良い明日」を届けてまいります。例えば社会・地域貢献については、毎年経常利益の1%までを支出することとしております。

当社グループは、長期ビジョン「Challenge 1000」が掲げるこれらの目標を、全従業員の圧倒的な当事者意識と行動で実践し、規模だけではなく企業グループとしての「質」を新たなステージへと高めていく所存です。

■株主還元の基本方針について

企業活動指針「四方よし」の一つである、株主の皆様への還元につきましては、その基本方針として、2030年度に至る長期ビジョン「Challenge 1000」の期間中において「連結業績を基準として、総還元性向50%」を目指します。

この基本方針に沿って、昨年度に続き、150万8,700株、16億5百万円の自己株式を取得、発行済株式総数（消却前）の5.21%にあたる307万株を消却いたしました。

「Challenge 1000」の初年度はコロナ禍という思いもよらぬ困難の下でスタートしましたが、2020年度の期末配当金につきましては、株主還元基本方針や業績、財務状況等に鑑み、昨年4月27日公表の配当予想通り、1株につき12円とさせていただきます。

株主・投資家の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

四方よし

当社グループは、価値の提供や貢献の対象として4つのステークホルダーを意識する「四方よし」を企業活動方針に掲げています。

顧客

一歩先の価値を

独創的で最先端の製品・サービスで、新たな価値をご提供いたします

従業員

挑戦と成長を

多様な働き方と挑戦による成長を実感できる環境をつくり、豊かな人生を応援します

株主

利益還元を

連結業績を基準として、総還元性向50%を目指します

社会

より良い明日を

社会課題の解決に貢献し、豊かな生活環境を実現いたします

財務目標 (2030年3月期・連結)

売上高

1,000億円

営業利益

150億円

ROE

10%以上

SDGsへの取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

四国化成グループは、2015年9月に国連サミットで採択された2030年までに達成すべき17の目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成を重要課題と認識しています。事業活動を通じSDGsの達成に向け取り組んでいきます。

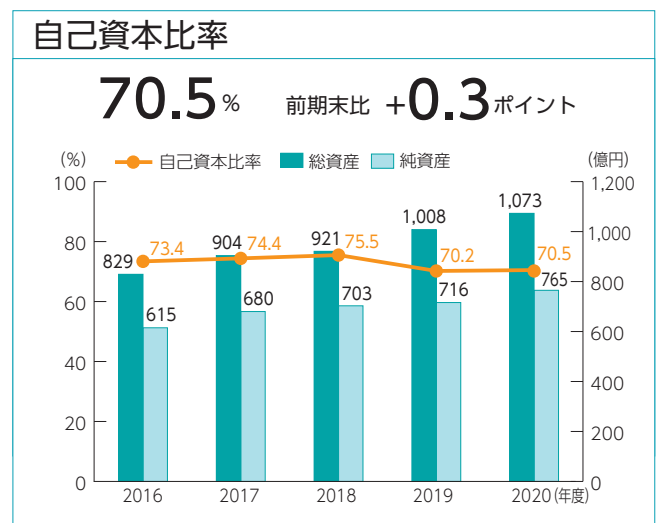
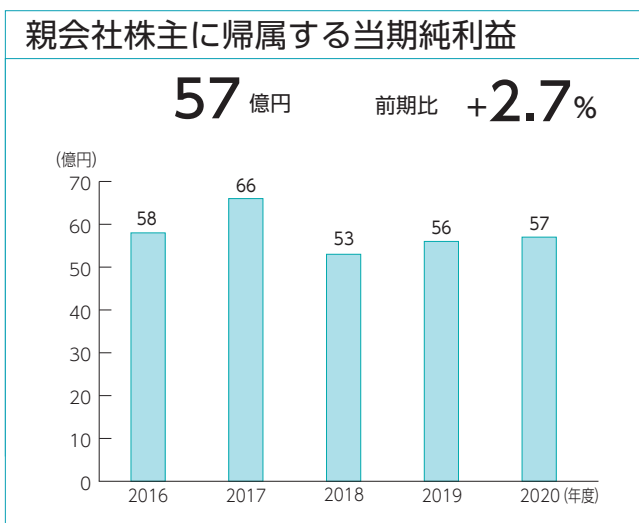
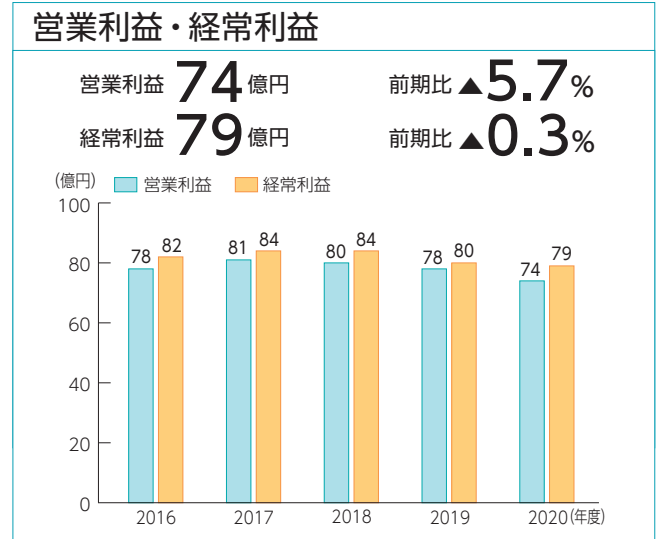
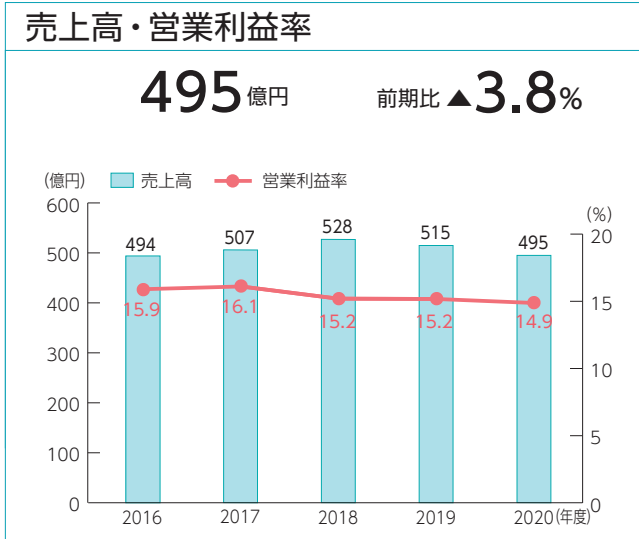
三井住友銀行 ESG/SDGs 評価型融資

「サステナビリティへのコミットメント」、「環境マネジメント」、「ローカル／グローバル・コミュニティへの配慮」において高い水準であると判断されました。また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高いと評価されました。

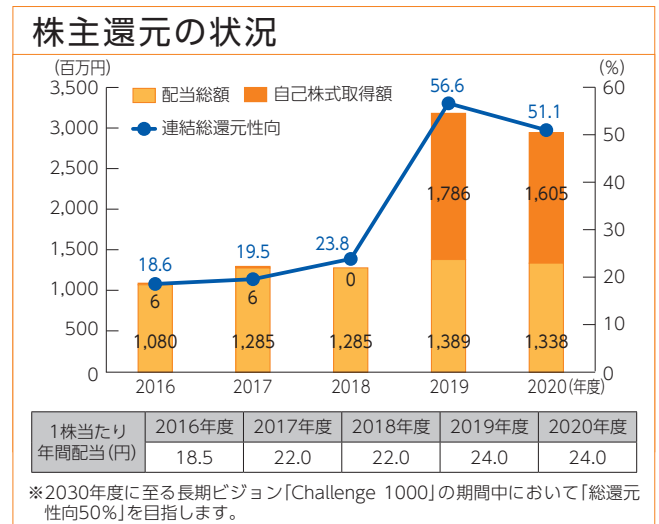
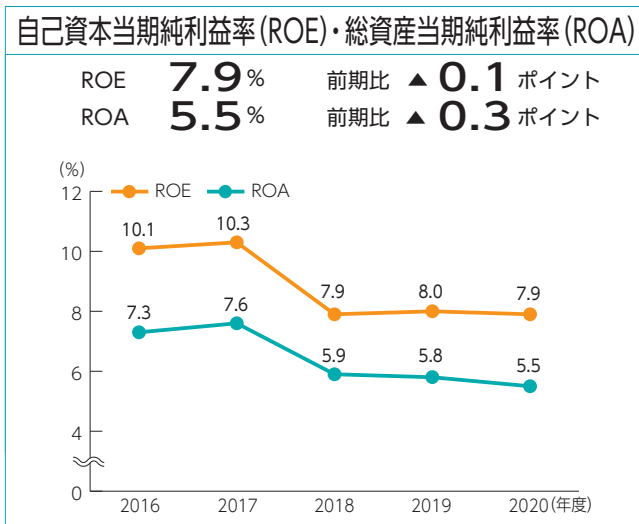
業績のポイント

- 売上高は新型コロナウイルス感染拡大による影響で、前年同期比3.8%減収
- 下期の業績回復により、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比2.7%増益

※グラフ中の金額は、億円未満を切り捨てて記載しております。



(注) 2018年度(第99期)より「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を適用しており、過年度については遡及適用後の値を記載しております。

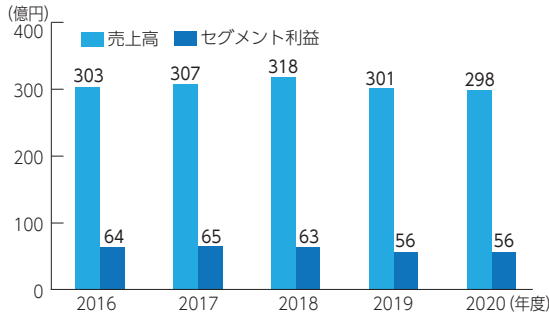


セグメント別事業概況

化学品事業

売上高 **298億50**百万円
セグメント利益 **56億64**百万円

業績推移



不溶性硫黄は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う世界規模での自動車やタイヤの生産調整の影響を受けて、上半期は国内、海外ともに低調に推移しましたが、下半期は生産活動が正常化し、販売が急回復しました。塩素化イソシアヌル酸は、国内市場は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う学校のプール授業中止などの影響によりプール薬剤の販売が低迷しましたが、家庭の衛生意識の高まりからくる消毒・殺菌需要の増加を受け、水回り設備(サニタリー)向け薬剤は好調に推移しました。米国市場は、春先からの好天や外出規制により家庭用プール向け薬剤の需要が増加し、好調に推移しました。ファインケミカルでは、タフエースを主力とする電子化学材料は中国・台湾を中心としたエレクトロニクス市場の回復を受けて、下半期は前年を大きく上回りました。イミダゾール類を中心とする機能材料は、自動車関連用途では市況悪化の影響を受けたものの、新規開発品が伸張しました。

この結果、化学品事業の売上高は298億50百万円 前年同期比1.0%の減収、セグメント利益は56億64百万円 前年同期比0.1%の増益となりました。

主要製品



無機化成品

- 不溶性硫黄 (ゴム加硫剤)
- 二硫化炭素 (化学繊維レーヨンの原料)
- 無水芒硝 (入浴剤の温浴効果促進剤、合成洗剤の洗浄助剤)



有機化成品

- 塩素化イソシアヌル酸 (プール・浄化槽の殺菌・消毒剤、船舶バラスト水の塩素処理剤)



ファインケミカル

- 電子化学材料 (プリント配線板向け耐熱型水溶性防錆剤)
- 機能材料 (エポキシ樹脂の硬化剤、樹脂改質剤)

化学品事業 60.2%

売上高
構成比

無機化成品 21.0%

有機化成品 21.6%

ファインケミカル 17.6%

エクステリア 34.9%

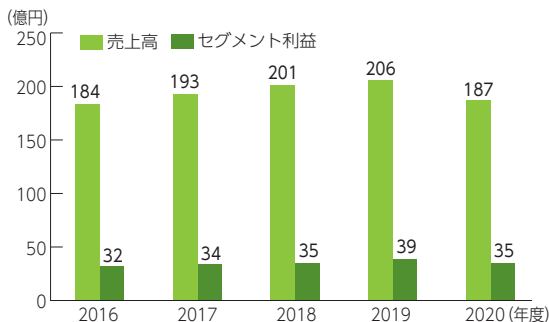
壁材 3.0%
その他 2.0%

建材事業 37.8%

建材事業

売上高 **187億60**百万円
セグメント利益 **35億05**百万円

業績推移



新型コロナウイルス感染拡大に伴う内外経済の先行き不透明感が強く、投資を先送りとする傾向が強まるなど様子見基調が続いており、住宅着工や設備投資が弱含む中で、壁材、エクステリアとともに低調に推移しました。

この結果、建材事業の売上高は187億60百万円 前年同期比9.0%の減収、セグメント利益は35億5百万円 前年同期比11.6%の減益と、いずれも前年を下回りました。

主要製品



エクステリア

- 住宅エクステリア (門扉、フェンス、カーポート、アコーディオン門扉、テラス、アルミシステム塀)
- 景観エクステリア (大型門扉、大型フェンス、通路用シェルター、自転車置場、ゴミ集積庫、屋上緑化等)



壁材

- 内装材、外装材、舗装材



Topics 1

ファインケミカルの次なる成長の原動力 最先端材料生産設備が完成、7月稼働開始



ファインケミカルの製造を担う4つ目のプラント(右)

徳島工場北島事業所にて建設を進めていたファインケミカルの新プラント、TAP-4(Tokushima Advanced Chemicals Plant-4)が4月に竣工しました。TAP-4は先端領域において需要が高まる半導体プロセス材料向けなどの新商品の試作から量産まで対応できるマルチプラントで、低金属管理など高い品質管理が求められる高機能製品を製造していきます。延床面積は900㎡、投資総額は約25億円です。

あらゆるモノがインターネットにつながるIoT時代が到来し、車の自動運転技術のさらなる進化など、様々な分野で半導体の需要が高まっています。また、電子機器の小型化や薄型化、高性能化が進むなか、最先端半導体プロセス材料などを製造開発するメーカーが各種原料に求める品質管理レベルは高まる一方で、金属などの異物は高性能な分析機器を用いてようやく検出ができる領域に入っています。特に低金属管理は、半導体の低消費電力化や大容量化を支えるプロセス材料に求められる最も重要な要素のひとつです。新プラントでは様々な性質の

原材料に対応した各種反応缶や周辺設備、分析装置を備えるとともに、設備内の空気もフィルターを通して取り込むほか、精製工程もクリーンルームで行うなど、製造プロセス全体を通じて高い水準で異物除去することでppt(1兆分の1)レベルの品質管理要求に役立てていきます。さらに、製造工程の自動化やヒューマンエラーの低減を目的に新システムを導入。管制室に機器の温度や圧力などの情報を集約し、運転員のタブレット端末での作業表示やデータ管理、遠隔操作も実施できる体制を構築しています。

当社は、長期ビジョン「Challenge 1000」の達成に向け、積極的な成長投資を行っていく計画であり、TAP-4もそのひとつに位置付けています。半導体をはじめとする電子部品などには、さらなる高機能化が求められています。そうした進化の一翼を担う原動力として、当社の有機合成技術や低金属管理技術が生み出す新しいファインケミカルの提供を通じて、これからも世界の進歩に貢献してまいります。



TAP-4内部



タブレット端末で遠隔操作する運転員



半導体ウェハー

[ICチップ、封止材使用例]

Topics 2

建材事業 バーチャル展示会サイト「まちらぼ」を公開

建材事業サイトでは、エクステリア・壁材のWEB展示会「まちらぼ」を6月1日より公開しました。コロナ禍で全国の展示会が中止となるなか、当社はWEBサイトを活用した情報発信を強化しており、4月1日に公開した「新商品のご紹介動画」に続き、「まちらぼ」を公開いたしました。

戸建て住宅や街並みを再現したバーチャル(仮想)展示会場では、2021年春の新商品を中心に約40商品を16の展示エリアで紹介。各エリアでは、ナビゲーターによる分かりやすい「商品紹介ムービー」をご視聴いただけます。また、スマートフォン、タブレット、パソコンなどの様々なデバイスから、360°ウォークスルーでバーチャル会場内を自由に散策し、臨場感あるWEB展示会がお楽しみいただけます。

これからも「いつもの場所を、価値ある空間に」を目指し、くらしを豊かにする商品を提供し続けてまいります。

https://kenzai.shikoku.co.jp/machi_lab/

QRコードからアクセス



360°ウォークスルーで
会場内を自由に散策!

Topics 3

中国・四国エリアで初の “モス&カフェ”店舗をオープン

グループ会社のシコク・フーズ商事(株)は、(株)モスフードサービスのフランチャイズとして、香川県内4カ所でハンバーガーショップを運営しています。今春、「モスバーガー宇多津店」を中国・四国エリアで初めてとなるカフェメニューを充実させた新たなタイプのモスバーガー“モス&カフェ”店舗としてリニューアルオープンいたしました。

店内はナチュラルカラーをベースとしたシンプルで落ち着いた内装で、調湿に優れた当社の塗り壁を使用。また、お客様用のテーブルや椅子などの什器には抗菌性のある素材を採用するなど、安全安心に配慮した空間を提供しています。さらに、ドライブスルー窓口とは別にコロナウイルス感染予防に対応したネット注文専用お渡し口を新設し、お客様が指定した受取時間に駐車場から直接ご購入いただける店舗となっています。これからも「おいしさ」だけでなく、「安全・安心」など、さらに一歩先の快適空間を提供する店舗を目指してまいります。



外観



店内



ネット注文専用お渡し口

モスバーガー宇多津店 香川県綾歌郡宇多津町浜二番丁14-1

企業情報 (2021年3月31日現在)

会社概要

会社設立	1947年10月10日
本社所在地	香川県丸亀市土器町東八丁目537番地1
上場証券取引所	東京証券取引所 第一部
資本金	68億67百万円
グループ従業員数	1,194名

役員 (2021年6月24日現在)

代表取締役社長 兼 C.E.O.	田中直人
取締役 常務執行役員	松原純
取締役 常務執行役員	渡邊充範
取締役 執行役員	濱崎誠
取締役 執行役員	眞鍋宣訓
取締役 執行役員	遠所裕
取締役 執行役員	平尾浩彦
取締役 (社外取締役)	原田秀逸
取締役 (社外取締役)	馬詰憲彦
取締役 (社外取締役)	古澤実
取締役 (社外取締役)	森清
常勤監査役	片山和彦
常勤監査役	田邊賢次
監査役 (社外監査役)	西原孝治
監査役 (社外監査役)	籠池信宏
執行役員	井出浩孝
執行役員	池田雄一

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
このほか必要ある場合は、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵便物送付先および照会先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-782-031 (受付時間 9:00~17:00 土・日・祝日等を除く)
- 公告方法 当社のホームページに電子公告として掲載いたします。
<https://www.shikoku.co.jp>
但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主優待制度について

期末現在における1,000株以上保有の株主様を対象に、地域の特産品(3,000円相当)を贈呈いたします。
2021年6月には、地元香川の特産品である讃岐うどんをお届けいたしました。

株式の状況

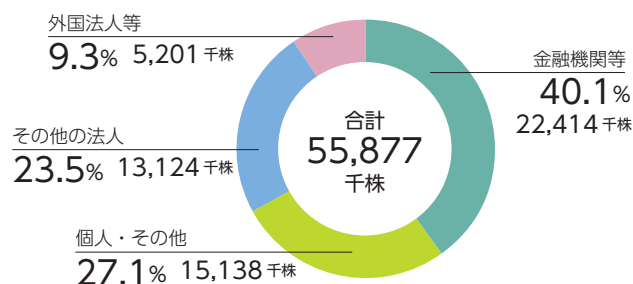
発行可能株式総数	235,850,000株
発行済株式の総数 (自己株式数65,103株を除く)	55,812,160株
株主数	4,136名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日清紡ホールディングス株式会社	5,580	9.99
シコク共栄会	4,402	7.88
日本生命保険相互会社	3,295	5.90
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,672	4.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・株式会社百十四銀行口)	2,640	4.73
株式会社香川銀行	2,500	4.48
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,195	3.93
株式会社伊予銀行	1,500	2.68
株式会社中国銀行	1,500	2.68
三菱商事株式会社	1,090	1.95

- (注) ● 持株比率は自己株式(65,103株)を控除して計算しております。
● 上記自己株式には、株式報酬制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行が保有する当社株式147,500株は含めておりません。
● 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・株式会社百十四銀行口)の持株数には、株式会社百十四銀行が自己名義で保有している300千株を含めて記載しております。

所有者別株式分布状況



<株式に関する各種手続き>

【住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について】

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

【未払配当金のお支払について】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

※当社は2020年12月4日より、株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関をみずほ信託銀行株式会社から三井住友信託銀行株式会社に変更しました。